

令和8年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	38	軽井沢 高等学校	全日制 課程	普通 科
----------	----	-------------	--------	------

学校教育目標	道徳教育の重点目標
1. 国際親善文化観光都市である、軽井沢ならではの地の利を活かした学びを推進し、地域に信頼され、地域に貢献できる学校を目指す。 2. 生徒の安心安全な学校生活を保障すると共に、主体的な活動を推進し、発信力・コミュニケーション力・協働性を有する人材を育成する。	1. 憲法・教育基本法に基づき、民主主義、基本的人権と人間性の尊重の立場に立つて民主的な人権教育をすすめる。 2. 部落差別の解消を中心的課題とするとともに、社会に存在する様々な差別の解消を目指し、生徒の人権感覚育成に努めるとともに平和教育にも取り組む。 3. ホームルーム、生徒会、クラブ、各教科、生徒指導等あらゆる教育活動を通じて、全職員により日常的、系統的な指導を行う。特に人間にとって最も大切であるものが生命であることから「いのちの学習」推進月間を設け、全職員が生徒とともに「いのち」について考える機会をつくる。また同和教育を中心にすえながら、基本的人権に関する正しい認識を育てる。 4. 地域教育機関とも連携し、生徒・保護者・地域社会と一体となった活動を重視する。 5. 学校教育の中立性・主体性を失わないよう配慮しながら、地域の諸団体と経験を交流し、協力する。
重点目標	
1. 学習実態の調査・分析や授業改善を推進し、生徒の学習意欲向上を目指す。 2. 社会の一員としての責任感を養い、規律を持たせるための粘り強い指導を行う。 3. 生徒が深く考え、判断し、行動できるように主体的な活動を推進する。 4. 多様な考えをもつ人々と協働できるよう支援する。	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科
1 年	高校生としての自覚を高めながら広く人権問題について正しい認識を身につける。ホームルーム活動を中心に、行事等を通じて日常的に良好な人間関係を保てる仲間づくりをする。また、いじめはいかなる場合も許されないことを、きめ細かく指導する。	基礎的・汎用的能力の育成からキャリア意識を高める活動に取り組む。 ○就業体験 ○進路ガイダンス ○科目選択	仲間とともに協力し合う活動の中で、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を身に付ける。 ○文化祭クラス発表 ○SNSの正しい利用法について ○人権学習（いじめのない学校生活のために）	より自律的な行動に努め、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ○部活動における望ましい人間関係の在り方について ○文化祭	国語 言葉による見方・考え方を働かせ、他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を育む。 地理歴史 社会との関わりを意識して課題を追究することによって、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断する力を育む。 公民 持続可能な社会づくりの観点から地球規模の諸問題や地域課題を解決しようとする態度を育む。 数学 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を含め、創造性の基礎を養う。 理科 自然の事物・現象を探究する活動を通して、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。 保健体育 体育や保健の見方・考え方を働かせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切にする態度を養う。 芸術 芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。 外国語 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 家庭 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を育成する。 情報 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度を身に付ける。 商業 商業の見方・考え方を働かせ、地域産業を担う経済社会の職業人として必要な資質・能力を身に付ける。 総合的な探究の時間 探究の見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な取組をとおして、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現する態度を養う。
2 年	ホームルーム・生徒会・クラブ活動等に積極的に取り組みながら、同和教育を中心とした社会の中の人権問題に対する理解を深める。またよりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度と行動力を身に付け	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 ○進路探究 ○課題研究 ○各種職業体験 ○進路別科目選択	校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ○クラスパフォーマンス ○平和学習（修学旅行事前学習） ○人権学習（多文化共生社会の実現に向けて）	校内組織における中心的な存在として主体的に行動し、目標に実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身に付ける。 ○部活動運営 ○文化祭 ○生徒会運営	
3 年	学校の諸活動のリーダーとしての責任を自覚させ、進路についての理解を深める。そして社会の諸課題に対して主体的に解決していこうとする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を涵養する。	よりよい社会を構成する一人としての自覚を持ち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う。 ○進路探究 ○課題研究	社会の構成員としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ○高校卒業後の在り方生き方について ○人権学習（社会生活の中の権利と責任） ○いのちの学習まとめ	本校生としてのみならず、社会を構成する一人としての自覚に基づき、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○生徒会の運営 ○文化祭の運営 ○ボランティア活動	道徳教育推進教師 大森 康一 (人権・平和教育係)

家庭・地域 との連携	・校内の諸活動について、地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 ・家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成員としての自覚を高める。
---------------	--